

様式1

令和3年度 学校評価表

学校教育目標		志を持ち未来を拓く子どもの育成 「自ら学ぶ」			
a ミッション	深い学びを目指した探求的な学習の推進	a ビジョン	○基礎・基本を大切に、確かな学力と健やかな心身を育む学校 ○学ぶ力と遊ぶ力、伝える力、受容する力を育む学校 ○尾道への郷土愛を高める学校 ○地域と保護者が共に育て支える学校—土堂小学校の教育への理解を深め、地域や保護者同士の交流を促進する—		

尾道市立土堂小学校

評価計画				自己評価				学校関係者評価			改善計画			
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	2月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
自ら学ぶ子	基礎・基本の定着と思考力の向上	モジュール授業の工夫 個に応じた指導の工夫 家庭学習の工夫 読書活動の充実 探求的な学習の工夫	単元末テスト通過率 国語・算数・理科・社会 平均90点以上の児童の割合	達成率 80%	74.5%		93.1	B	4月は74.1%、5月は86.3%6月は72.6%、7月74.5%で、全体では75.8%であった。問われていることが分かっていなかったり勘違いしたりして、得点を落としている。また、活用問題では、授業で習ったことを応用する問題で、授業では扱っていない初めてのバターンの問題であるため、問題の理解ができていないことがある。また、見直しをしなかったり計算を小さくかいたり雑にかいたりすることで計算ミスをしたたりすることがある。	8			<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、十分に成果を上げられていると思います。目標との差は、誤差の範囲内加減しませんが、計算の繰り返しの練習量が少ないように感じます。 うっかりミスが多いのは、もったいないですね。落ち着いて問題を読むことを習慣できればと思います。 実態にあった問題を・・・とのことですが、習熟度に応じてというのは理解できますが、 	<ul style="list-style-type: none"> 問われていることに線を引いたり、答えと問われていることの整合性を確認したりするなど、学校全体として見直しを指導していく。 計算は大きく書き、ノートを大きく使う指導をする。モジュールでは、速く計算することも重視しながら、授業では段階的に丁寧に計算を解く指導もしていく。 単元末のまとめで、練習問題に取り組みときは、教科書の練習問題だけでなく、活用問題の類似問題にもチャレンジさせる。 e ライフラインを活用し、それぞれの児童の実態に合った難易度の問題を選択させ、取り組ませる。 適用問題だけでなくBも意識して、定期的に問題をさせる。また、Bの問題の発見を行う。 全国学力テストの分析を行い、授業改善に努める。
			「基礎・基本」定着状況調査の児童質問紙 肯定的評価平均75%以上 (3~6年生)	達成率 80%	77.0%		96.3	B	<ul style="list-style-type: none"> 「基礎・基本」定着状況調査の児童質問紙肯定的評価の平均75%以上の達成率は、77%だった。特に、コロナ禍ということもあり、「地域や子供会などの行事に参加する」が38.2%、「自分で勉強の計画を立てています」が56.4%と低かった。 	8		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍という環境下で指導いただきありがとうございます。 テスト範囲と日にちを伝えてもらっているので、自分で復習する機会を当ててもらいたい。 コロナ禍で地域行事に参加できないのは仕方ない。 「自分のやり方で」ということで自発的に取り組めるのは良いと思います。 3年生で自分のやり方を選んで計画的にできるようにするのはハードルが高い気がしますが・・・。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで行ってきた宿題の出し方を改善する。児童に十分に指導した上で、自分でやり方を選んで自分に合った方法で宿題をするような出し方を考える。 テスト範囲を伝え、内容や量の計画を立てさせて、自分で考えて宿題をさせる。 	
思いやる子	共感的人間関係の育成	挨拶の励行 学級経営の充実 生徒指導体制の確立	アセス「生活満足群」が 40以上の児童の割合	達成率 90%	88.0%		97	B	<ul style="list-style-type: none"> 生活満足度が40未満だった児童は、1年生3人、2年生3人、3年生0人、4年生6人、5年生7人、6年生10人であった。 高学年に生活満足度が40未満の児童の割合が多い。 	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 高学年の生活満足度40未満が気になりました。 環境の変化に伴い、児童のストレスの払拭・軽減にご対応よろしくをお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 新校舎へ移転となり、新しい生活に不安を感じる児童が出てくる可能性も高いので、各学級1ヶ月に1回は児童と学校生活について話をする機会を作る。 児童会で全員参加できるイベントを企画し、楽しく遊ぶ機会を作る。 高学年の児童には、学校行事や太鼓などを通して、自信や意欲を高められるような肯定的な声かけを行う。 	
			新体カテスト20mシャトルランと50m走の結果 (県平均または全国平均値の高い方を上回った学年男女別別の割合)	達成率 50%	63%		100	A	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の県または全国平均値の高い方を上回った種目の割合は、68/96種目(70.8%)であり、昨年の58種目(60%)を上回った。 50m走では、男子は4つの学年、女子は3つの学年で平均を下回っている。ボール投げでは、男子は2つの学年、女子は3つの学年で平均を下回っている。 	8		<ul style="list-style-type: none"> ありがたいです。 新しいグラウンドでの体育活動の充実を願っています。 移転のメリットの部分かもしれませんね。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度課題であった20mシャトルランでは、記録が大きく改善された。冬に行ったマラソン朝会やマラソン大会等の取組みに効果があったと考える。 50m走では、新校舎のグラウンドは、直線で50m以上が確保できるため、最後までスピードを落とさずに走ることや走り抜ける指導を行い、記録の改善を図っていく。 	
根気強くやりぬく子	体づくり	体育授業の工夫 ～運動量の確保～	「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底	達成率 早寝...75% 朝ごはん...90% (3以上の子の割合)	早寝 76.8% 朝ごはん 97.5%		早寝 100 朝ごはん 100	A	<ul style="list-style-type: none"> 早寝を習慣化できた児童の割合は、76.8%となり、目標値の75%に対して達成度は、100%となった。 朝ごはんを食べることを習慣化できた児童の割合は、97.5%となり、目標値の90%に対して達成率は、100%となった。 	8		<ul style="list-style-type: none"> 家庭との協力体制ができている成果で心強いですね。 保護者との連携が達成されている結果だと思います。 2学期から新たな環境であるので、早起きをする家庭が増えたかと思えます。今後とも具合を伺っていただきますようお願いいたします。 大切なところなので継続してほしいです。 コロナ禍で健康管理が重要課題と思えます。引き続きよろしくお願ひいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、目標値を達成することができた。保健便りを配布するときに、児童に読み聞かせを行ったり、早寝早起き朝ごはんカードの取組を実施したりして、健康全般への意識を高めていこうとする意欲の継続を図っていく。 	
			地域での学習、ゲストティーチャーの活用 <地域での学習> (1学期 20回、2学期 20回、3学期 5回) <ゲストティーチャーの活用> ゲストティーチャー活用に関する児童アンケートの肯定的評価 (3年生~6年生)	達成率 90% 達成率 80%		地域での学習 13回 ゲストティーチャー活用に関する児童アンケートの肯定的評価 91.4%		地域での学習 65 ゲストティーチャー活用に関する児童アンケートの肯定的評価 100	C	<ul style="list-style-type: none"> 地域での学習は、4月4回、5月2回、6月7回、7月0回で、合計13回だった。新型コロナウイルスや高温による外出禁止などの影響もあり、例年より行動が制限される中で、工夫しながら地域での学習を試みたが、なかなかできなかった。ゲストティーチャーについても同様で、あまり活用することができなかったが、児童アンケートの肯定的評価は、91.4%だった。 	6	1	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍ですので、ゲストティーチャーは難しい面があると思います。 仕方ないです。また地域学習のフィールドワークができるようになるとよいですね。 その時の状況に合わせるしかないので仕方ないと思います。 地域との連携が必要になってくると思いますので、地域に寄り添うような働きかけがいただければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 新校舎になり新しい場所になるので、学習に活用できる場所を開発していきたい。 総合的な学習の時間の単元開発を行う。主に、実生活と結びつくようなリアルな課題を設定し、社会とつながっていくような単元を開発する。その中で、学校の周りを探検したり調べたりしていく。また、外部講師と連携しながら行えるような活動を仕組んでいく。
地域と育てる者が	コミュニティ・スクールの実践	尾道への郷土愛を高める教育を行うために、地域人材・素材を計画的に教育課程に位置づけて実践する。	保護者評価5段階3以上の割合 (保護者アンケート) ・運動会 ・学習発表会	達成率 90%			100	A	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止対策のための度重なる変更ににもかかわらず、取組の工夫と目指す姿を明確にもった指導により、児童の意欲を高める指導ができ、保護者からの高い評価を得ることができた。 	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 十分な成果だと思えます。 諸行事を様々な形で考えてくださりありがとうございます。 久しぶりに学校での姿を見ることができありがたいです。 コロナ禍による制限があり大変ですが、できる範囲で最大限を目指してがんばってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期は、学習発表会を予定している。発表内容の工夫と、的確で児童の意欲を高める指導により、児童に達成感を味わわせる取組としていく。 	
			働き方改革の推進	達成率 80%		4~7月 25%		31.2	D	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度4月~7月までの4か月間の比較で、昨年度より削減したのは1月のみであった。しかし、昨年度4・5月は、臨時休業であったとともに、7月は、月末まで授業日であったために、単純な比較はできないと考える。 	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 通常の状態ではないのでやむを得ないと思えます。 移転になり、ますます先生方の仕事が増えているのではないかと心配しております。 教育と働き方改革、移転と大変ですがよろしくお願ひいたします。 先生方のご負担が軽減するように働きかけ・対策をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 働き方に関する意識を高めるとともに、業務改善を常に行っていくことで、時間外勤務時間の削減に努める。

【自己評価 評価】
A: 100 ≦ (目標達成)
C: 60 ≦ (もう少し) < 80
B: 80 ≦ (ほぼ達成) < 100
D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。ハ: わからない。